



アルムの丘から

第 28 号

発行日 平成27年 2月 9日 編集・発行 グリーンアルム広報委員会

郵便番号: 382-0034 住所: 長野県須坂市大字仁礼7番地10 電話番号: 代表026-215-2662

『利用者様の思いに寄り添う』

特別養護老人ホーム グリーンパルベル

グリーンパルベルでは、45人の本入所の方と5人のショート利用者の方の生活を支援させていただいています。何十年と暮らしてきた家を離れて見ず知らずの方との共同生活に不安を抱きながら入所される方も多いと思います。「施設」=閉鎖的とイメージする方も多いかと思えます。

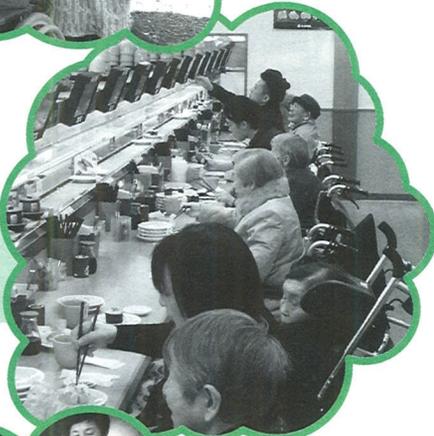
そんなイメージを払拭し、利用者様を笑顔にするために、日々グリーンパルベル職員が力を入れて取り組んでいることを一部ご紹介させていただきます。



家の庭のもみじが真っ赤できれいでしたね。



「ここよく来たのよ!」とフローラルガーデンのお花がきれいでした。栗のアイスクリームも美味しかったですね。



おすし大好き。

外出行事への参加や、自宅に帰ることなど、ご家族にたくさんのご協力をいただいて実現できた事例と感想です。

- ・家に帰って仏壇に手をあわせることができた。
- ・家に帰って庭を見てきた。もみじが真っ赤できれいだった。池の鯉が元気に泳いでいるのを見て安心した。
- ・家で家族と一緒に、家の畑でとれた野菜の漬物を食べながらお茶を飲んできた。
- ・家族と一緒に、大好きなお寿司を食べに行きました。おいしかったあ。
- ・施設に入る前によく行ったフローラルガーデンに家族と一緒に久々にお出かけできた。
- ・(女性利用者) 実家に行ってきた。山の景色が変わってなくて懐かしかった。



家族の顔をみて、ホッとするととき。

昨年より開催している「家族の集いの会」も、ご家族の貴重な意見をお聞きする場、利用者様の笑顔を増やすための大事な話し合いの場となっています。

私たちは「こんなことできたらいいな」ができた時の利用者様の嬉しい顔をもっともっと見たいと思います。「自分の家に帰りたい」「昔の散歩コースを歩きたい」「若いころ臥竜公園に行くのが日課だった」「〇〇のラーメンが大好きだった」など、もっともっと利用者様のあれがしたい、これがしたいを応援していくグリーンパルベルでありたいと考えています。



行きつけの洋品店で買い物。「どれにしようかしら…」





特別養護老人ホームグリーンパルベルに入所されている牧憲次様が須坂市男性最高年齢となりました。

憲次様は明治43年生まれ、104歳、当施設には平成26年5月に入所されました。

三度の食事を好き嫌いなくしっかりと食べられ、毎日新聞を欠かさず読み、職員に「何か仕事はないかい？」と、タオルたたみを率先して手伝ってくださり、元気に毎日生活をされています。

昨年9月6日に行われた敬老祝賀会では、節目を迎えられた利用者様を代表して、「幼いころは体が弱くて兵隊にも行けなかったが、どういっわけか、病気がつせずに、こんなに長生きしている。グリーンアルムの皆さんによくしてもらっている。あと10年はがんばるので、今後ともよろしくお願ひいたします。」と元気に大きな声であいさつされました。



2月13日に105歳を迎えられますが、「本人に長生きの秘訣をお聞きしたところ、「長生きの秘訣は今になってもわからない。自分でもこのまま生きてくることが不思議なんだよ。」とお話されていました。また「何かやりたいことありますか?」とお聞きすると「今となつては特にやりたいことはないけど、4人いる子供が元気で長生きしてほしい。」とおっしゃっていました。

私達も憲次様に元気をもらい、利用者一人一人の気持ちを大切にしながら、日々サービスの提供に努めております。これからも利用者の皆様元気に、満足して生活できる環境を提供できるよう、職員一同がんばっていきたいと思います。



おたのしみ会

12月5日 おたのしみ会を開催しました。

グリーンアルムでは、毎年クリスマスの時期に全施設の利用者様と職員が参加し、「おたのしみ会」を行っています。この日を目指して各施設が余興の選定から練習を重ね、舞台上で発表します。衣装に身を包み、顔は思いっきりメイクをして正体がわからないほど変身し、歌ったり、踊ったりとプロ顔負けの演技で利用者様と職員が心の底から笑い楽しめます。



今年度は何と言ってもウィングラスデイケアの「ダメよ〜ダメダメ〜」が最高の発表でした。

利用者様と職員が一体となって楽しいひと時を過ごしました。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

年末から新年にかけて様々な大きな災害、事件、事故がありました。

実は私事ではありますが、我が家にもちよつとした、(本人が聞いたら怒る?)事件がありました。

東京で暮らしている母がベランダで転倒！圧迫骨折！してしまいました。

入院するまでの数時間、勿論長野にいる私は何もできず、救急隊の皆さん、ケアマネさん、病院の皆さんに大変お世話になりました。

急な出来事で慌ただしい時間が過ぎホットした後、何故か思い出した言葉があります。「幸せは来ている事に気付かないほどシンワリやって来る。不幸はとつともなく、ハッキリやって来る」

今年一年、何があっても冷静でいられる自分でありたいと心してお正月となりました。

皆さん、いかに言ひ時の心の準備！おこたりにく。

(山崎)